

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年5月11日発行

－ 2017.5.1～2017.5.7－第18週－

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								患者数	宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数		患者数	累計	第15週	第16週	第17週
水痘	2 0.40	1 0.10				1 0.20		6 0.22	10 0.17	456				
流行性耳下腺炎	1 0.20	2 0.20	1 0.20		1 0.33			1 0.04	6 0.10	196				
百日咳			1 0.2						1 0.02	6				
感染性胃腸炎	45 9.00	17 1.70	12 2.40	12 6.00	4 1.33	8 1.60		121 4.48	219 3.71	4,127	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.2	1 0.1						3 0.11	5 0.08	23				
伝染性紅斑			1 0.20					1 0.04	2 0.03	36				
突発性発しん	2 0.40	8 0.80	1 0.20		1 0.33	1 0.20	2 1.00	11 0.41	26 0.44	519	○	○	○	○
ヘルパンギーナ									0 0.00	8				
インフルエンザ	24 3.00	36 2.40	20 2.50	4 1.33	41 8.20	19 2.38	25 6.25	109 2.48	278 2.93	26,370	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	19 1.90				1 0.20	2 1.00	8 0.30	31 0.53	376	○	○	○	○
流行性角結膜炎									0 0.00	36				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25 5.00	27 2.70	2 0.40	3 1.50	3 1.00	29 5.80		31 1.15	120 2.03	2,845	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00	1.00 1.00		1 1.00	2 0.40	6 0.50	94				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症		2 0.20						3 0.11	5 0.08	170				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1 1.00			5 1.00	6 0.50	45				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	7	1						3					
	川崎病								1					
	不明発疹症								1					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意  
○: 発生または流行について、今後の情報に留意  
△: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名、女性1名(第8週)  
仙台管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)

仙台管内 女性1名

4類感染症: E型肝炎

石巻管内 男性1名

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性1名(第16週)、男性1名(第17週)

クロイツフェルト・ヤコブ病

石巻管内 女性1名

侵襲性肺炎球菌感染症

仙南管内 男児1名\*

仙台管内 男性1名

\*男児は6歳未満

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感生先生胃腸炎患者より

塩釜管内 第17週採取分 A群ロタウイルス 3件  
アデノウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第15週採取分 (4.10～4.16)	第16週採取分 (4.17～4.23)	第17週採取分 (4.24～4.30)			
インフルエンザウイルスA(H3)	0件	1件	0件			
インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	1件	0件	0件			
アデノウイルス	0件	2件	1件			
エンテロウイルス	0件	1件	0件			
単純ヘルペスウイルス	1件	0件	0件			

## 4. 今週のコメント

### 【感染性胃腸炎(ロタウイルス)】

全国的に第6週以降増加が続いており、今週までの宮城県の患者数は45人となりました。例年、3月から5月にかけて乳幼児を中心に胃腸炎の流行が起こり、この中にロタウイルスによる胃腸炎が多く含まれています。乳幼児期(0～6歳ごろ)にかかりやすい病気で、水のような下痢、吐き気、おう吐、発熱、腹痛などの症状が出ます。特に、乳幼児では激しい症状が出ることも多く、意識の低下やけいれん等の症状が見られたら、速やかに医療機関を受診しましょう。ロタウイルスの感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。ロタウイルスにはアルコール消毒はあまり効き目がありません。便や吐物で汚れた衣類には、家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)によるつけおき消毒が有効です。乳幼児を対象としたロタウイルスワクチンの予防接種を任意で受けることができますので、医療機関でご相談ください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

